



**ハンズフリー リングスキャナ**

**RS5100**

**簡易マニュアル**



## はじめに

このたびは、小型 軽量 ハンズフリー リングスキャナ RS5100 シリーズ（以下、本製品）をお選びいただき 誠にありがとうございます。  
ございます。

本マニュアルは、初めてのお客様でも本製品を簡単に使い始めていただけるように、基本的な使い方に絞って説明しています。  
各パラメータの詳細など本製品の詳細な説明につきましては『RS5100 プロダクト リファレンスガイド』など、付属のドキュメント  
をご参照ください。

なお、機種やバージョンにより、実際の製品と本マニュアルの記載内容が異なることがあります。

### バッテリーに関するご注意

- ・指定された充電器以外では充電しないでください。
- ・火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解しないでください。
- ・指定温度範囲を超える高温または低温で充電しないでください。
- ・火の近くや炎天下などに放置しないでください。
- ・水やその他の液体で濡らさないでください。
- ・バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ちに医師に相談してください。

### 製品保証

本製品の本体無償保証期間は 1年間（12ヶ月）です。

※バッテリー単体およびケーブルなどのアクセサリは本体の製品保証に含まれません。

### お願い

本マニュアル内には、本製品を設定するためのバーコードが記載されています。

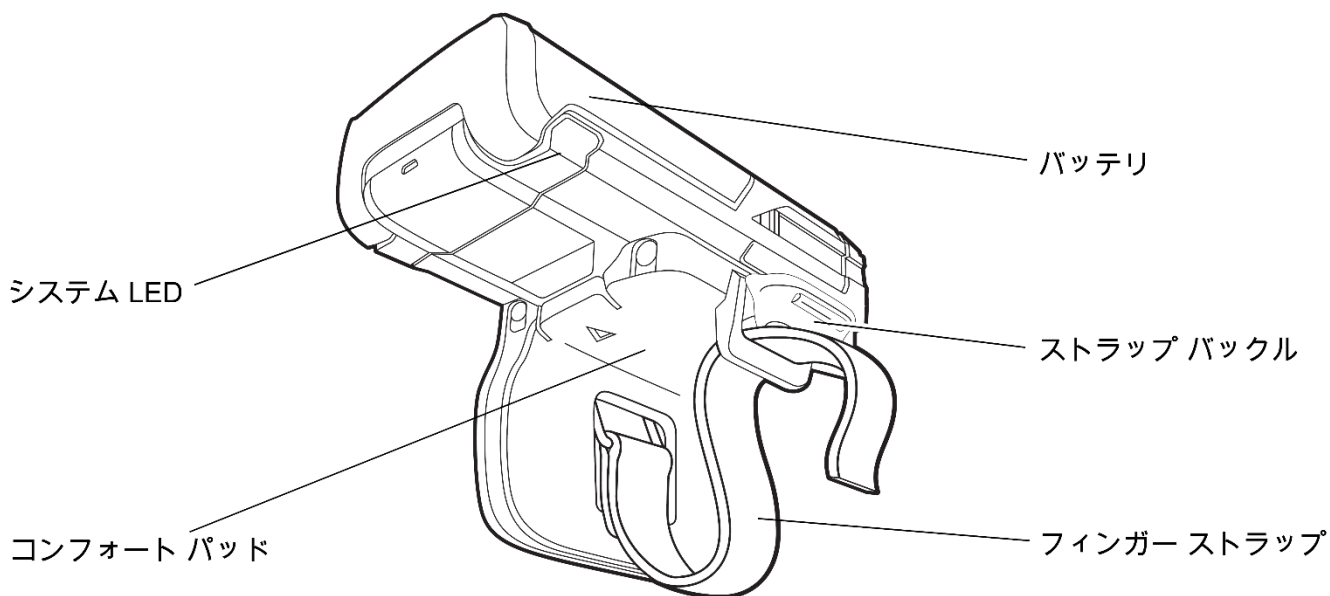
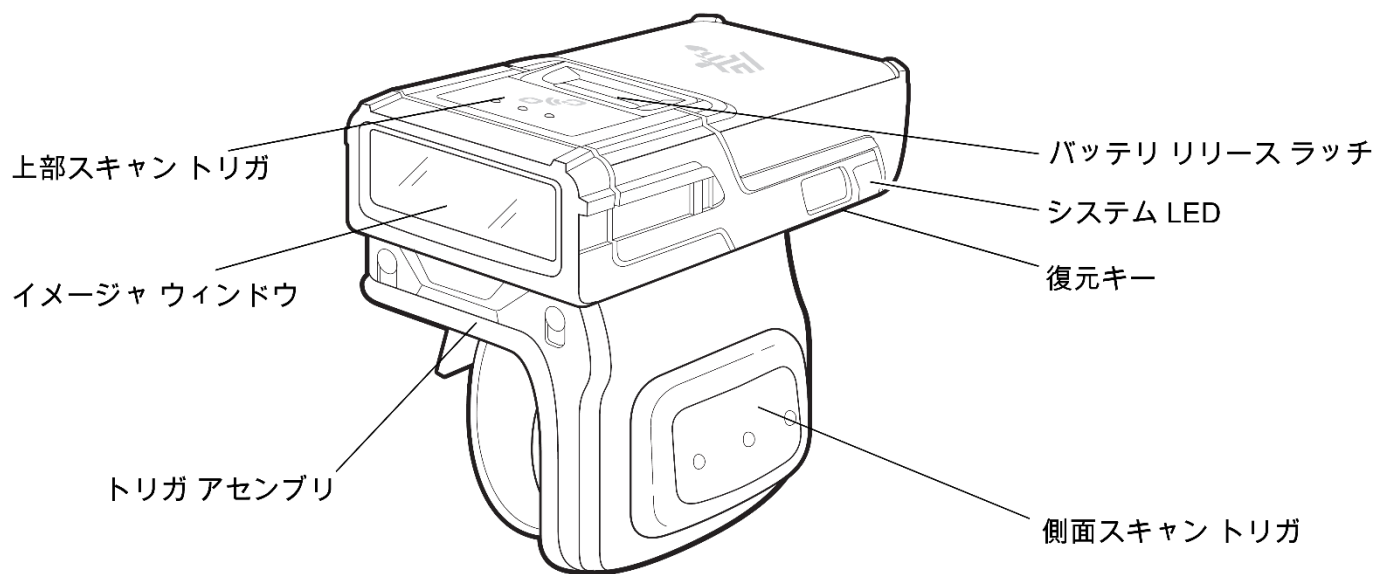
バーコードが隣接して読み取りにくい場合はピックリストモード（Page-19）の設定を「有効」にしてください。

# 目次

各部の名称 .....	3
本体の使い方 .....	4
■ ストラップの取り付け・取り外し .....	4
■ バッテリーの取り付け・取り外し .....	5
■ 充電方法 .....	6
■ 使用方法 .....	8
■ iPhone/iPad との接続 .....	9
■ Android との接続 .....	11
■ Windows との接続 .....	13
■ NFC タップツーペア .....	15
■ 端末との再接続 .....	16
■ ペアリングの解除 .....	17
自動的に付加コードを入力する .....	18
読み取りかたの設定 .....	19
■ ピックリストモード .....	19
■ ビープ音の大きさ .....	19
■ 全バーコードの読み取り .....	19
■ EAN/JAN の読み取り .....	20
■ UPC-A/UPC-E の読み取り .....	20
● UPC-E の有効／無効（初期値：有効） .....	20
■ Code39 の読み取り .....	21
■ Code128 の読み取り .....	21
■ NW7 の読み取り .....	22
■ GS1(GTIN)の読み取り .....	22
■ GS-1 コンポジットの読み取り .....	23
■ 2D バーコードの読み取り .....	23
その他の設定 .....	24
■ パスポート OCR 読み取りの設定 .....	24
サンプルメニュー .....	25
■ サンプルメニュー 1 .....	25
■ サンプルメニュー 2 .....	26

各部の名称

RS5100 シングル トリガ



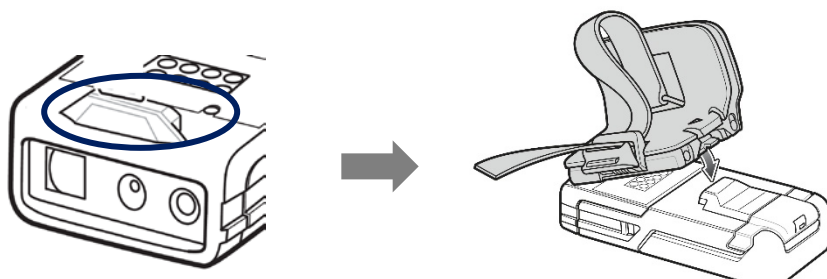
## 本体の使い方

### ■ストラップの取り付け・取り外し

本製品は付属のトリガーパーツを本体にセットして使用します。

#### ●取り付け(右手装着の例)

黄色のラッチと反対側の部分を本体に引っ掛けてから黄色のラッチを押し下げて本体に装着して下さい。

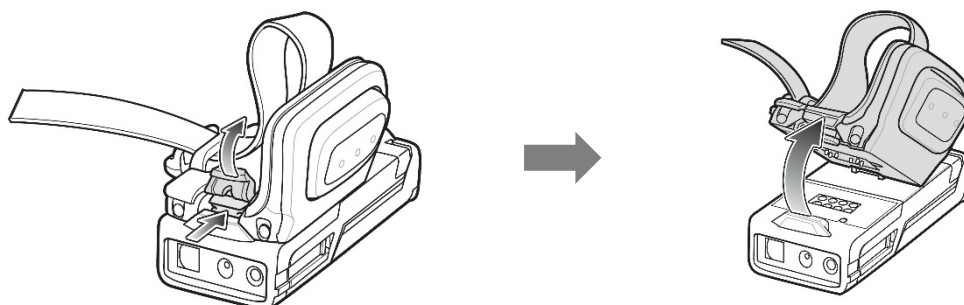


#### ●取り付け(左手装着の場合)

トリガーパーツを右手装着の場合とは 180 度向きを変えて装着してください。

#### ●取り外し(左手装着の場合)

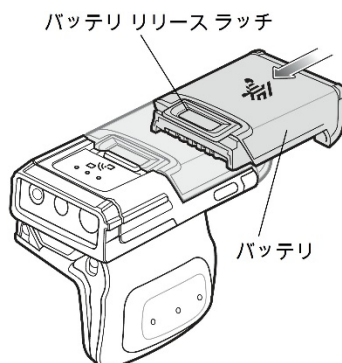
黄色のラッチを押しながら持ち上げる



## ■ バッテリーの取り付け・取り外し

### ● バッテリーの取り付け

1. 本体の上部にバッテリーを合わせ、バッテリー収納部に挿入します。
2. バッテリーを押し、カチッと音がするまでバッテリー リリース ラッチを本体にはめ込みます。

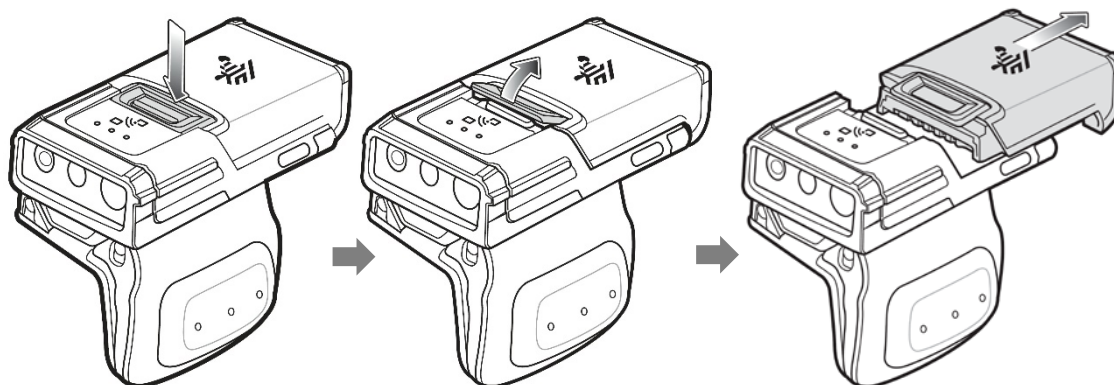


注：工場出荷時に出荷された新品のバッテリーは、保護のため出荷モードで出荷されています。

バッテリーを有効にするには、専用充電器で充電してください。

### ● バッテリーの取り外し

1. バッテリー リリースラッチを持ち上げ、バッテリーをスライドさせます。



## ■ 充電方法

バッテリーの充電には、本体にバッテリーを取り付けたまま行う本体充電とバッテリー単体で行う充電方法があります。

それぞれで充電器が異なりますので、適切な充電器をご使用ください。

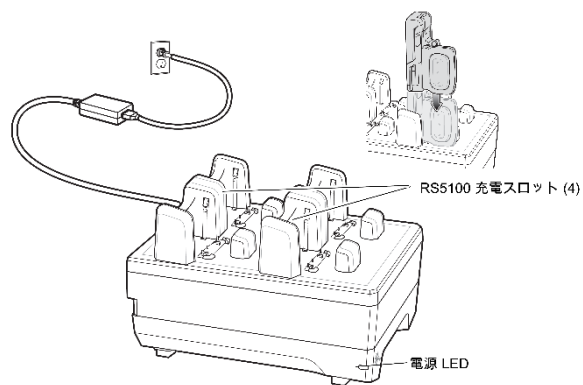
初めてお使いになる時は、十分に充電してからご使用下さい。

### RS5100 充電器の種類

品名	型式	充電	
		本体	バッテリー単体
4 スロット充電専用クレードル	CRD-RS51-4SCHG-01	○	×
20 スロット充電専用クレードル	CRD-RS51-20SCHG-01	○	×
8 スロット バッテリー充電器	SAC-RS51-8SCHG-01	×	○

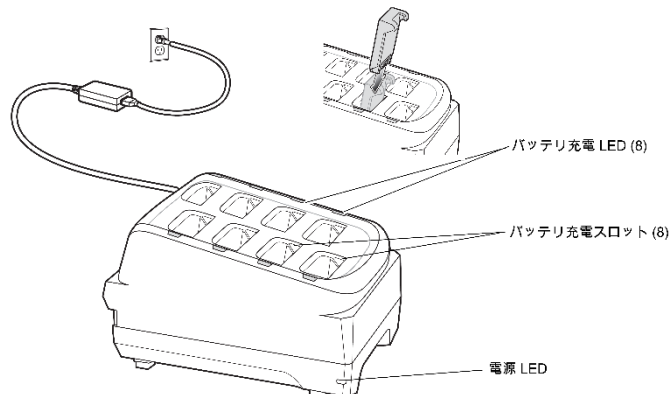
#### ● 本体充電器による充電

1. バッテリー及びスキャントリガーが正常に取り付けられているか確認して下さい
2. 下図のようにスキャンウインドウを下に向けて本体充電器にセットして下さい
3. LED インジケータを確認して下さい



#### ● バッテリー専用充電器による充電

1. 本製品からバッテリーを取り外して下さい
2. 下図のように充電接点を下に向けてバッテリー専用充電器にセットして下さい
3. LED インジケータを確認して下さい



注: ファームウェアを Bluetooth 経由でアップデートする場合は、十分に充電してから行ってください。

## ●充電 LED インジケータ

状態	意味
消灯	バッテリーが充電されません。RS5100 またはバッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。 クレードルに電源が供給されていません。
黄色の点灯	バッテリーを充電中です。
緑色の点灯	バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回 点滅)	充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 - バッテリーの温度が、充電するには低すぎるか高すぎる。 - バッテリーの充電サイクルがタイムアウトに達した。バッテリーが、フル充電サイクルの目安時間( 通常 8 時間 ) を経過しても充電できない。
赤色で点灯	消耗したバッテリーが充電中であるか、または完全に充電されています。

バッテリーの充電は、5 ～ 40°C の温度で行います。

<目安：標準バッテリーの充電温度>

- ・室温 : 2.5 時間以内に 0 ～ 90% まで充電されます。
- ・5 ～ 10°C : 5 時間以内に充電されます。

本製品およびクレードルは、バッテリーの温度を監視します。

バッテリーの充電は、バッテリーが安全な充電温度 範囲内にあるときにのみ実行されます。

高温 ( たとえば、約 35°C ) の場所では、本製品または充電クレードルはバッテリーの充電状態を有効・無効を交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。このプロセスでは、完全な充電サイクルを完了するために、さらに時間が必要な場合があります。

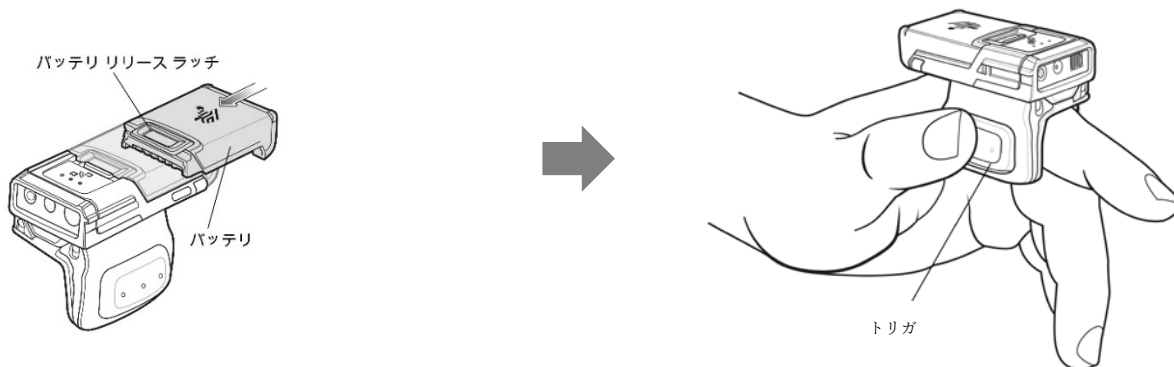
本製品 またはクレードルは、異常な温度のために充電を行えなくなると、ステータス LED で示します。



## ■使用方法

### ●本製品に電源を入れるには：

1. バッテリーを本体に取り付けます。
2. 黄色のトリガを押します。
3. 起動すると LED が少し緑に光り、ピポパと起動音が鳴ります。



注：工場出荷時に出荷された新品のバッテリーは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリーを有効にするには、専用充電器で充電してください。

### ●Bluetooth 接続：

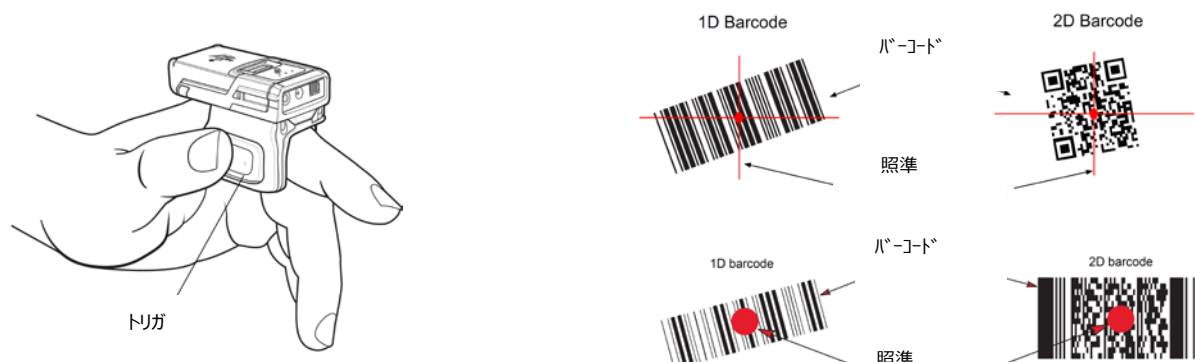
本製品は、スキャンしたバーコードデータを Bluetooth 経由で Zebra モバイルコンピューター および その他の Bluetooth を搭載している機器に送信することができます。使用する前にペアリングをする必要があり、設定については、「Bluetooth 接続」Page-9 を参照してください。

### ●バーコードの読み取り：

本製品は、通常人差し指に装着して使用します。本体側面のトリガーを使用し、バーコードに赤色の照準を合わせることで、読み取りが可能となります。

バーコード読み取り後、接続している機器へ正常にデータが送信された場合は、LED が緑色に点灯し読取音（ピッ）が鳴ります。

※照準は製品モデルによって十字または丸形の照準ドットが表示されます。



## Bluetooth 接続 (HID キーボード)

本製品とホストをペアリングします。通常、ペアリングは最初に 1 回だけ行います。以降は本製品の [復元キー] を押すだけで自動的にホストと接続されます (「自動再接続」設定時)

注：・本製品は、充電しておいてください。

・本製品がスリープ状態の場合は [トリガ] を押します。

### ■ iPhone/iPad との接続

iOS 端末を例に接続 (ペアリング) の方法を説明します。

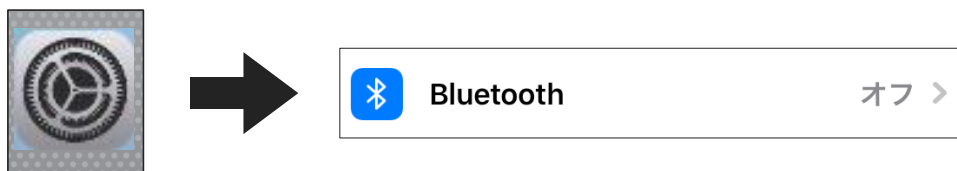
1. 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。



BLEをサポートしていない機器の場合



2. iPhone で [設定] → [Bluetooth] をタップします。

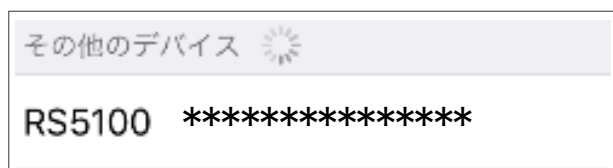


3. [Bluetooth] を ON にします。



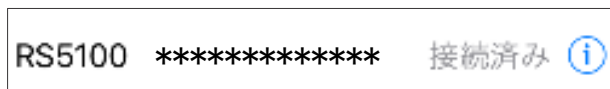
4. 「その他のデバイス」に表示される [RS5100: \* \* \*] をタップします。

※ 「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります



5.本製品と iPhone がペアリングされて「接続済み」が表示されます。

続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



6.iPhone ホーム画面で [メモ] をタップして起動したら、[新規] をタップします。

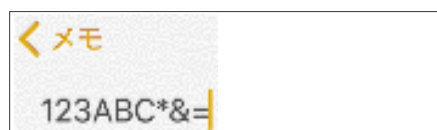


7.本製品で次のバーコードを読み取ります。



123ABC\*&=

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



## ■Android との接続

Android 9 を例に接続（ペアリング）の方法を説明します

1.本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。



BLE をサポートしていない機器の場合



2.Android 端末のアプリ画面で [設定] → [Bluetooth] をタップします



設定

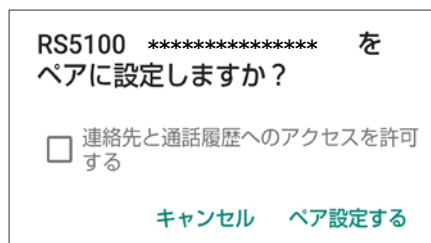


3. [Bluetooth] を ON にします。



4.「使用可能なデバイス」に表示される [RS5100: \* \* \*] をタップします。

※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。



5.ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。

続いて読み取りテストをして接続の確認をします。

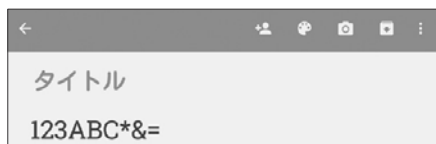


6.Android 端末で、メモ帳など テキスト入力ソフトを起動します。

7.本製品で下記バーコードを読み取ります。



画面に次のように表示されれば接続は成功です。



## ■Windows との接続

Windows 10 を例に接続（ペアリング）の方法を説明します。

1.本製品で次バーコードを順番に取り取ります。



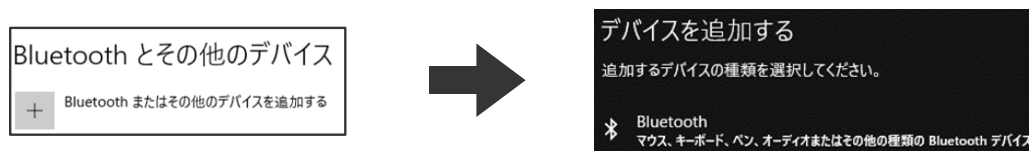
BLEをサポートしていない機器の場合



2.Windows スタート画面で [設定] → [デバイス] → [Bluetooth とその他のデバイス] をタップし、[Bluetooth]をオンにします。

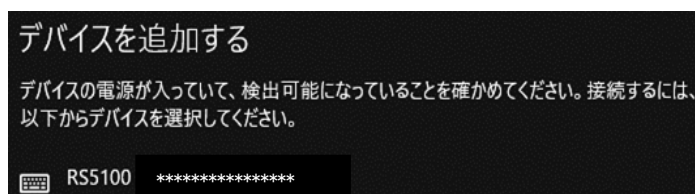


3.「Bluetooth とその他のデバイス」 → [Bluetooth]を選択します。



4.「RS5100: \* \* \*」をタップし、続いて表示される [ペアリング] をタップします。

※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。



5.ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。  
続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



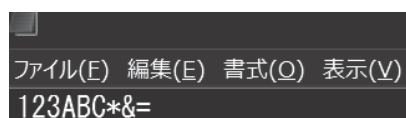
6.アプリ画面で「メモ帳」をタップして起動します。



7.本製品で次のバーコードを読み取ります。



画面に次のように表示されれば接続は成功です。



注：記号が正しく表示されない時は、キーボードのタイプを「日本語 Windows」に変更してください。

## ■ NFC タップツープア

本製品は NFC を使用して、Bluetooth 機器とのペアリングをサポートします。

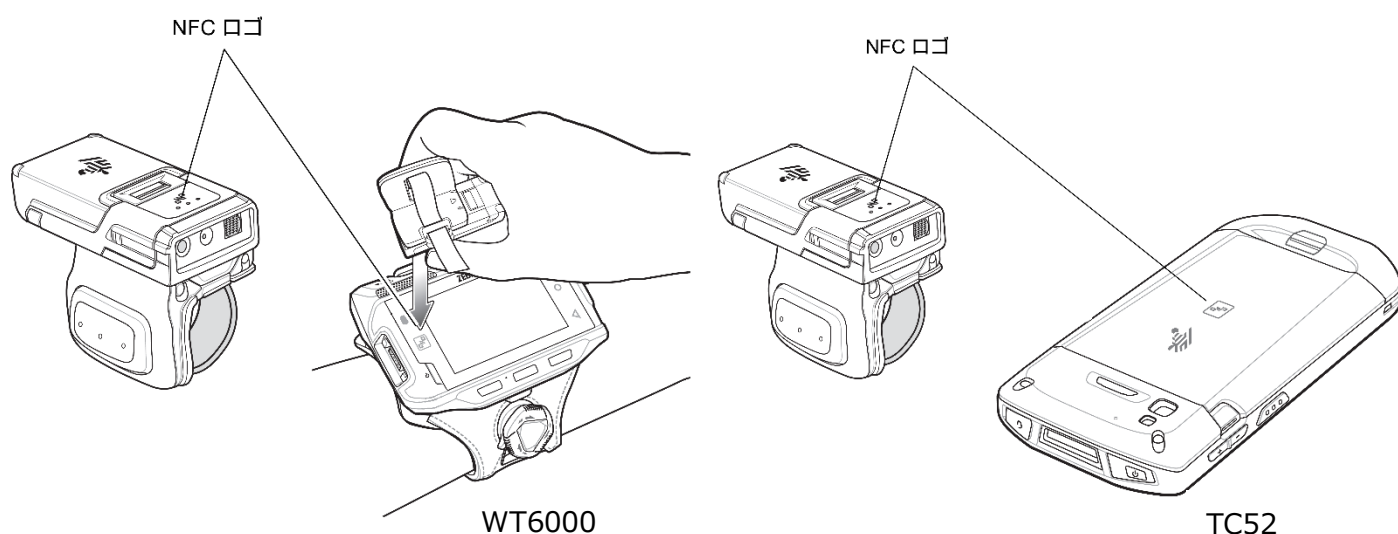
ゼブラ製品（WT6000 や TC52 など）に接続するには、次の手順で行います。

- 1.ゼブラ製品の NFC が有効になっていることを確認します。
- 2.本製品 の 電源を入れ（スキャナトリガを押す） NFC アイコン とゼブラ製品の NFC アイコンを合わせます。

本製品 がゼブラ製品との接続を確立しようとしていることを示す、緑色のステータス LED が点滅し、接続 が確立されるとステータス LED が消灯し、本製品 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

注：下記の接続方法は、Zebra モバイル コンピュータのみに適用されます。詳細については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

また、すべてのゼブラ製品が NFC を使用したタップツープア機能をサポートしているわけではありません。





## ■ 端末との再接続

本製品には電源スイッチはありません。使用しないまま一定時間が経過するとスリープ 状態になり、端末との Bluetooth 接続は切断されます。

また、[トリガ] を押すとスリープ状態から復帰します。

### ● 自動再接続の設定（初期値：自動再接続する）

本製品を自動再接続に設定すると、無線が切断した場合やスリープからの復帰時に自動的に再接続します。



\*自動再接続する



自動再接続しない

### ● 再接続のしかた（自動再接続に設定されている場合）

スリープ状態の場合は [トリガ] を押して本製品を起動します。

続いて [復元キー] を押します。

接続されると「ピッ」と音がします。

注：接続できない場合は、ホスト側の Bluetooth が ON になっていることを確認してください。

## ■ペアリングの解除

本製品とのペアリングを端末から解除するには、次の手順で行います。

### ● iOS

- 1.iOS 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
2. [RS5100 : \* \* \*] [!] をタップし [このデバイスの登録を解除] をタップします。

※ 「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

### ● Android

- 1.Android 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
2. [RS5100 : \* \* \*] [\*] をタップし [切断] をタップします。

※ 「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

### ● Windows

- 1.Windows 端末で [設定] → [デバイス] をタップします。
2. [RS5100 : \* \* \*] をタップし [デバイスの削除] をタップします。

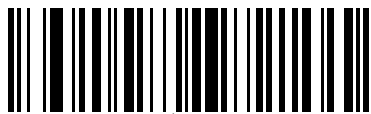
※ 「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

## 自動的に付加コードを入力する

読み取ったバーコードデータを ホストに送る際に、改行コードなどをデータの後に加付することができます。

初期設定は「付加コードなし（データのみ）」です。

### ●付加コードなし



\*データのみ

### ●CRLF (ENTER) コードを付加する



### ●TAB コードを付加する



## 読み取りかたの設定

### ■ピックリストモード

読み取りエリアに複数のバーコードがある場合、照準が当たっているバーコードを読み取ります（初期値：無効）



\*常に無効



ハンドヘルドモードで有効

### ■ビープ音の大きさ

ビープ音量を設定します（初期値：大）



\*大



小

### ■全バーコードの読み取り

すべてのコードタイプを読み取れるように設定します。



すべてのコードタイプを有効にする



すべてのコードタイプを無効にする

注：特定のコードタイプだけを読み取り可能にする場合は「無効」を設定した後、読み取り対象のコードタイプの設定バーコードを読み取ります。

■ EAN/JAN の読み取り

● EAN-13/JAN-13 (初期値 : 有効)



\*EAN-13/JAN-13 を有効にする



EAN-13/JAN-13 を無効にする

● EAN-8/JAN-8 (初期値 : 有効)



\*EAN-8/JAN-8 を有効にする



EAN-8/JAN-8 を無効にする

■ UPC-A/UPC-E の読み取り

● UPC-A の有効/無効 (初期値 : 有効)



\*UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

● UPC-E の有効/無効 (初期値 : 有効)



\*UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする

● UPC-A の先頭に“0”を付加する(システムキャラクタおよびカントリーコードを選択)



\*システムキャラクタ

<システムキャラクタ> <データ>



システムキャラクタおよびカントリーコード

<カントリーコード> <システムキャラクタ> <データ>

● UPC-E の先頭に“0”を付加する(システムキャラクタおよびカントリーコードを選択)



\*システムキャラクタ

<システムキャラクタ> <データ>



システムキャラクタおよびカントリーコード

<カントリーコード> <システムキャラクタ> <データ>

■ Code39 の読み取り

● Code39 の有効/無効 (初期値 : 有効)



\*Code39を有効にする



Code39を無効にする

● Code39 のスタート・ストップキャラクタを転送する



■ Code128 の読み取り

● Code128 の有効/無効 (初期値 : 有効)



\*Code128を有効にする



Code128を無効にする

■ NW7 の読み取り

● NW7 の有効／無効（初期値：有効）



\*NW7 を有効にする



NW7 を無効にする

● NW7 のスタート／ストップコード転送設定（初期値：許可）



\*転送許可



転送禁止

■ GS1(GTIN)の読み取り

● GS1 DataBar-14 の有効／無効（初期値：有効）



\*GS1 DataBar-14 を有効にする



GS1 DataBar-14 を無効にする

● GS1 DataBar Limited の有効／無効（初期値：有効）



\*GS1 DataBar Limited を有効にする



GS1 DataBar Limited を無効にする

● GS1 DataBar Expanded の有効／無効（初期値：有効）



\*GS1DataBarExpanded を有効にする



GS1DataBarExpanded を無効にする

■ GS-1 コンポジットの読み取り

● CC-A/Bの有効/無効（初期値：無効）



\*CC-A/Bを無効にする



CC-A/Bを有効にする

● CC-A/Cの有効/無効（初期値：無効）



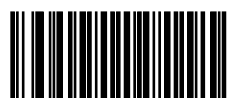
\*CC-Cを無効にする



CC-Cを有効にする

■ 2D バーコードの読み取り

● QRコードの有効/無効（初期値：有効）



\*QRコードを有効にする



QRコードを無効にする

● Data Matrixコードの有効/無効（初期値：有効）



\*Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

● PDF417の有効/無効（初期値：有効）



\*PDF417 を有効にする



PDF417 を無効にする











## サンプルメニュー

### ■ サンプルメニュー 1

Windows でも iOS でも Android でも簡単に接続できます！

●RS5100 と Bluetooth で HID 接続方法
1. RS5100 にバッテリーを取り付けます。
2. RS5100 のトリガーボタンを押すとピピピと音が鳴り起動します。
3. 接続先に合わせ接続バーコードをスキャンします。BLE で接続出来ない場合は Bluetooth Classic をご使用下さい。
設定内容：工場出荷設定、BLE 又は Bluetooth HID 設定、データ+<ENTER>設定
4. PC、スマートフォンで以下操作を行います。
Windows 設定 > デバイス > Bluetooth オン > Bluetooth 又はその他のデバイスを追加する > Bluetooth > RS5100 を選択
Android 設定 > 接続済みの端末 > Bluetooth を ON > Bluetooth > 新しいデバイスとペア設定する > RS5100 を選択
iOS 設定 > Bluetooth > Bluetooth を ON -> RS5100 を選択 > ペ어링
5. メモ帳等を起動し、入力モードを半角英数字に設定します。
6. トリガーボタンを押してバーコードをスキャンすると、データが画面に表示されます。

BLE (Bluetooth Low Energy)		
		
Windows	Android	iOS
Bluetooth Classic		
		
Windows	Android	iOS

## ■ サンプルメニュー2

### MDFデモ手順

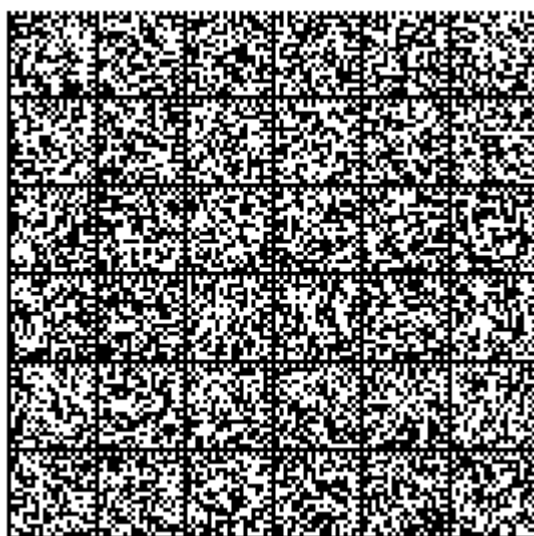
- 1.RS5100にバッテリーを取り付けます。
- 2.RS5100のスキヤントリガを押すとピピピ音が鳴り起動します。
- 3.MDF設定バーコードを左から順にスキャンします。

設定内容：工場出荷設定、BluetoothClassic設定、MDF設定

4. PCで以下操作を行います。

設定> デバイス> Bluetoothオン> Bluetooth又はその他のデバイスを追加する> Bluetooth >RS5100を選択

5. メモ帳を起動し、入力モードを半角英数字に設定します。
6. スキヤントリガを押して右上のパッケージラベルをスキャンします。



MDF 設定バーコード 1 of 3

#### マルチバーコードスキャン (MDF) とは

- ・全部または選択されたバーコードを出力
- ・指定された順番でバーコードを出力
- ・バーコードデータを編集して出力
- ・最大 20 個までのバーコードの一括読み取り。
- ・最大 9 種類のフォーマットを登録可能
- ・コードタイプ、コード長、識別文字および開始位置の指定が可能
- ・必要なデータがない場合、スキャンデータを破棄
- ・バーコードは 1 枚のラベル内にすべて収める必要はありません。  
(トリガーを押している間に読み取れたバーコードが対象です。)
- ・無償ツール 123Scan で簡単設定！



MDF 設定バーコード 2 of 3



MDF 設定バーコード 3 of 3

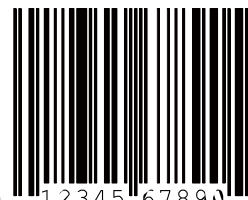
(注意) このページ設定のバーコードは、本マニュアルと共通利用するが出来ません！

● Code39



123ABC

● UPC-A, 100%



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 5

● EAN-13, 100%



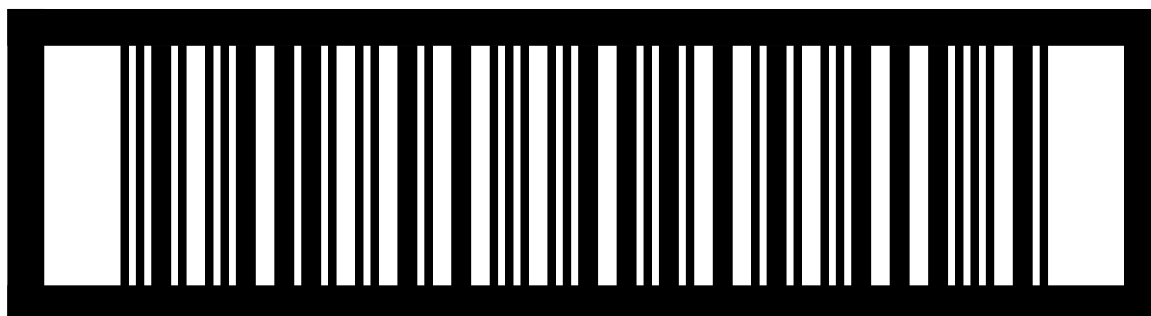
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 0

● Code128



1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

● Interleaved 2 of 5



1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 1

- PDF417



- Data Matrix



- GS1 DataBar-14 (注 : DataBar-14 を有効にしてください)



- QR コード



# アヴネット株式会社

アヴネット株式会社

東京本社

〒 150-6023 東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 23 階 インベデット事業本部 第 2 営業部

Tel (03) 5792-9860

西日本支店

〒 541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 2 丁目 3-13 大阪国際ビルディング 15 階 インベデット事業本部 第 2 営業部

Tel (06) 4705-1200

2020 年 7 月 第 1 版